

(様式第1号)

令和4年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会 会議録

会議の名称	令和4年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会
日時	令和4年7月25日(月) 午後2時～4時
場所	市議会事務局 第1委員会室
出席者	委員長 渡部 昭男 (大阪成蹊大学 特別招聘教授) 副委員長 中西 勉 (芦屋市こども・健康部 部長) 委員 松枝 泰生 (芦屋市保護司会 副会長) 委員 倉内 弘子 (芦屋市民生児童委員協議会) 委員 井岡 祥一 (芦屋市教育委員会学校教育部 部長) 委員 尾崎 綾子 (芦屋市立西山幼稚園 園長) 委員 宮嶋 昭伸 (芦屋市立浜風小学校 校長) 委員 入江 祝栄 (芦屋市青少年育成愛護委員会 会長)
欠席者	委員 白山 真悟 (芦屋警察署生活安全課 課長) 委員 西端 充志 (芦屋市立精道中学校 校長) 委員 泉 美由紀 (芦屋市立西蔵こども園 園長) 委員 中村 紀子 (芦屋市青少年育成愛護委員会 副会長)
事務局	芦屋市教育委員会社会教育部長 茶嶋 奈美 青少年愛護センター所長 富田 康起 青少年愛護センター所長代理 花尾 廣隆 青少年愛護センター所長補佐 中寫 健太
会議の公開	■公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1)委嘱式
- (2)委員長・副委員長の選任
- (3)令和3年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告
- (4)令和4年度 芦屋市立青少年愛護センター事業計画
- (5)意見交換

事務局花尾 皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、令和4年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会にご出席・ご参加いただきありがとうございます。さて、本日開催する、第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会ですが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け、Zoomによるオンラインとの併用で開催させていただいております。急な変更になり、申し訳ありませんでした。

私は議事に入るまでの間、会の進行を務めさせていただきます愛護センターの花尾でございます。よろしくお願いいたします。

今回は、人事異動や役職変更等で退任した委員がございまして、最初に委嘱式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を受け、新委員さん4名に送付させて頂きま

すので、ご査収のうえよろしくお取り計らい願います。今後とも、委員としてのご協力を  
よろしくお願い致します。

今回新しく委員となられましたのは、芦屋市こども・健康部中西勉委員、芦屋市立小学  
校長代表宮嶋昭伸委員、芦屋市立中学校長代表西端充志委員、芦屋市立保育所保育指導担  
当泉美由紀委員です。よろしく願います。

任期は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間です。

本日、西端委員、泉委員、中村委員、白山委員から、ご都合により欠席のご連絡をいた  
だいております。なお、井岡委員、宮嶋委員は次の会議がございますので、15時をもつ  
て退席いたします。青少年愛護センター運営連絡会は、委員の半数の出席をもって成立と  
決めていますので、本日は半数以上の出席・参加があり、会として成立している事をご報  
告致します。

続きまして、会の進行についてご説明させていただきます。芦屋市情報公開条例第19  
条の規定に基づきまして、この運営連絡会は原則、公開となっています。なお、非公開情  
報が含まれる場合や公開することにより公正、または、円滑な審議ができない場合は、非  
公開にすることができます。その際は、ご発言の前に、お申し出てください。また、会議  
内容につきましては、録音させていただきます。

委員の皆様には、発言内容を後日確認していただき、芦屋市ホームページに掲載させて  
いただきます。氏名も公表されることをご了解願います。

本日は、傍聴者はいません。

それでは、ただ今より令和4年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会を開催  
いたします。社会教育部茶嶋部長より御挨拶をいただきます。

茶嶋部長 皆さん、こんにちは。社会教育部の茶嶋と申します。コロナの関係で急遽オンライン  
になった事は、申し訳ございませんが、有意義な協議ができれば良いなと思っております。

普段から地域の方々に見守り頂き、また学校園でも子ども達を丁寧に見て頂くことで、  
芦屋の子ども達は普段から安心して過ごせているのではないかと思います。ありがたく思  
っています。

どうぞよろしく願います。

事務局花尾 続いて、委員長については昨年度から引き続き渡部委員に委員長をお願いします。な  
お、副委員長の岸田委員が退任されましたので、新たに副委員長の選出が必要となりま  
す。副委員長は、委員長のご指名となっていますので、渡部委員長よろしく願いま  
す。

渡部委員長 それでは、中西勉委員にお願いしたいと思います。

事務局花尾 ありがとうございます。早速ではございますが、渡部委員長より御挨拶をお願い致し  
ます。

渡部委員長 皆さん、こんにちは。事務局にはオンラインで実施するための連絡・調整・準備、本  
当にご苦労様でした。2年前からコロナということで、やがてはオンラインで実施しな  
ければいけないというようなことが相談されていたので、今日はある意味では画期  
的な第一歩ではないかと思っております。

コロナの状況もいろいろ変化があります。(Zoomの画面の)私の後ろには、3年ぶり

に開催された祇園祭に先日行ってきまして、祇園祭の暖簾を背景にしました。

また今回感染爆発ということで、このような形になっております。今日はどうぞよろしくお願ひ致します。

事務局花尾 ありがとうございます。続きまして、新しい委員もいらっしゃいますので、各委員の自己紹介を、名簿順にお願ひ致します。なお、本年度最初の会議ですので、出身母体の状況等も話していただけるとありがたいです。

渡部委員長 まず、わたくし渡部ですけども、大相撲にも興味がありまして、昨日の千秋楽もなかなか見ごたえがあった貴景勝関（芦屋市出身）の取り組みだったと思います。

さて、今回このような形で実施されますけれども、慣れないところは補い合いながら実施できればと思います。では、次の松枝さんよろしくお願ひ致します。

松枝委員 保護司会の松枝です。芦屋市の保護司会は現在24名の人員でやっております。いつも芦屋市の皆さん、PTA、愛護の方、皆さんにはお世話になります。今後ともよろしくお願ひ致します。

倉内委員 民生児童委員会の倉内と申します。いつもお世話になっております。いつも皆様からいろんなことを伺いながら子ども達の見守りをさせていただいております。よろしくお願ひ致します。

中西副委員長 こども・健康部長の中西と申します。昨年までは事務局でお世話になっておりました。こども・健康部ですけども、要保護児童対策地域協議会を所管しておりまして、先日第1回目の代表者会を開催したところでございます。

市内におきましても、子どもの安全、安心な家庭生活ができるようにということで様々な団体、市民の皆様、各機関の皆様にお集まりいただいて、児童虐待のことであるとか、その他子どもの健全育成に関することについてご協議いただいているところでございます。

来年3月まで副委員長という職も仰せつかりましたので、なんとか会の運営に協力できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

井岡委員 皆さん、こんにちは。学校教育部長の井岡です。日頃は芦屋市の子どもたちの為にここにいらっしゃるほとんどの方、地域を含め様々お世話になっております。

今、この新型コロナ禍ということでかなり感染拡大しているのですが、子ども達の安心安全を第一に考えながら学校教育を進めていきたいと思っておりますので、今後とも皆様の御協力よろしくお願ひいたします。

尾崎委員 昨年度に引き続き、今年度もよろしくお願ひします。今、幼稚園は夏休み中で、預かり保育をしておりますので、職員室から失礼しております。途中で、もしかしたら子ども達や先生方の声が入るかもしれません。よろしくお願ひします。

いつも子ども達の見守りをさせていただいて助かっております。卒園していった子どもたち小中高生も含めて、登降園時など愛護委員の方にいつも見守っていただいて、登降園の不安がある時は声をかけていただいたりしております。

そういう地域の見守りがとても嬉しく、ありがたく思っております。今年度もよろしくお願ひいたします。

宮嶋委員 芦屋市の8小学校を代表して御挨拶申し上げます。1学期本当にありがとうございました。学校でもなかなか地域への開放ができなかったんですけども、それでも、校内で運動

会、そして校外学習、7月は水泳授業も久しぶりに実施することができて、笑顔がはじけるというひと時を作ることができました。

子ども達を日頃いろんな所で支えて下さっている愛護委員を含め皆様のおかげだと感謝しております。今日もよろしく願いいたします。

入江委員 芦屋市青少年育成愛護委員会の入江です。いつも皆様にはお世話になり、ありがとうございます。愛護委員会では、今年度も事件、また大雨の警報など出た時には各班で情報を収集して、情報をつかんだら役員会のLINEで班長さんにお知らせして、すぐに行動するという活動をしています。また、各班で問題があれば、班長、役員、協会の理事で相談し合って解決できる環境づくりをしています。

全体では、愛護協会の方で、来年の2月にオンラインで「子ども会議」を開こうということでZoomで子どもの意見を聞くという会を計画しております。それに先駆けて愛護委員会で9月26日に学校のGIGAスクール構想のお話と「Zoomの使い方講座超初級編」というのを企画しております、私のようなオンラインとかに疎い人間でもできるように今年度愛護委員会全体で進めていけたらいいなと思っております。

事務局花尾 ありがとうございます。続きまして事務局の職員の紹介をいたします。

(事務局職員の紹介)

事務局花尾 それでは、議事に入らせていただきます。これより進行を渡部委員長にお願い致します。

渡部委員長 それでは今日は主に愛護センターの事業報告と事業計画というふうになっております。それでは事業報告につきまして事務局からご説明お願いいたします。

事務局中寫 (配布資料1に基づき説明)

渡部委員長 それでは、事業計画の説明も続けてよろしく願いいたします。

事務局中寫 (配布資料1に基づき説明)

渡部委員長 はい、ありがとうございます。令和4年度の愛護委員の資料などございますか。

事務局中寫 (令和4年度の愛護委員の資料を提示)

渡部委員長 はい、ということです。令和3年と令和4年で、どこか大きく変わっている所はありますか。

事務局中寫 毎年、班長が変わっております。

渡部委員長 ということで、あとでまた入江さんの方から補足していただきます。事務局から報告をいただきました。宮嶋委員がちょっと早めに出られますので、何かありましたらお願いいたします。

宮嶋委員 小学校は本当に皆さんのおかげで、健全育成できてるのじゃないのかなと思っております。各愛護班の活動状況を見せていただいて、たくさんの回数の活動をしていただいて本当にありがたいなと思っております。

地域ごとの特性・特色あると思いますけども、子ども達を見守って頂いていることについて本当に感謝申し上げます。この夏もたくさん子ども達が楽しみにしているイベントが、コロナの制限がありつつも予定されていると聞いています。そういった中でも子ども達が楽しみながら無事に終わられるように、様々な関係団体が取り組んでいただいている、ご苦労いただくということに本当に感謝申し上げます。

それぞれの地域ごとの目配り、取り組みをしていただいて、また2学期、子ども達を引

き続き見ていただけたらなと思っております。本当に今日はありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

渡部委員長 全国ではコロナの関係で夏休みが1週間ほど前倒しで始まると聞いておりますが、宮嶋委員、夏休みの始まりと終わりを教えて頂けますか。

宮嶋委員 夏休みは7月21日から始まって8月28日に終わってということで、2学期のスタートは8月最後数日間から始まるという形になっております。短いようで長い夏休み、しっかり地域で楽しい思い出を作ってくれたらなと思っております。

渡部委員長 ありがとうございました。それでは、参加の委員の方から、いくつか意見や、質問をと思います。

ではまず私から。事業報告では、中止とか書面開催が多くなっているのですけれども、今年度はこうして今回オンラインで開催したという実績ができましたので、これからオンラインで開催できるという事が増えていくのでしょうか。これがまず一つです。

それから三大大会ということで、令和4年の「子ども会議」と「愛護大会」をもう少し具体的に、どのようなことを予定されているか教えていただければと思います。以上二つお願いします。

入江委員 まず、「子ども会議」なんですけれども、コロナ前に「子ども会議」をしたきり、中止で終わっていたのですけど、「子ども会議」の前身の「子どもと語る会」は、ぜひしていただきたいという協会さんたちの声が大きかったので、来年の2月ごろを目指してオンラインで会議をしようと計画中です。

私たち理事では、なかなか分からないことも多いので、愛護委員さんの中で何度もオンラインセミナーをしておられる方がいらっしゃるんで、その方に手伝っていただいて、愛護委員さんの子ども達を対象に参加してもらって、各お家からZoomで参加してもらい、私たちが決めた、こういうことを質問しようというのを子ども達と意見交換しようということを計画しております。

愛護協会さん、割と年配の方もいらっしゃるんで、Zoomが分からない方も多いので、愛護委員会の方で9月に「Zoomの使い方講座超初級編」というものを実施させていただく予定です。

あと、「愛護大会」の方なのですけれども、時勢が許せばさせていただくつもりでいまして、コロナ前でしたら市内をパトロールしていたのですけど、今年度はそれは無しにして、今回は公園紹介ということで芦屋市内の小校区ごとの公園を各班でまとめて紹介するというのと、紹介するために調べると、愛護委員さんの中で、公園のここ何でこうなっているのとか疑問が湧いてくるだろうということで、道路・公園課の方に来ていただいて出前講座をしていただいて、Q&Aということで質問にも答えていただけるという会をしようと計画中です。

渡部委員長 追加の質問です。「子ども会議」と言いますと大体人数的にはどのくらいの規模になるのでしょうか。

入江委員 Zoomでの「子ども会議」ですけど、質問する司会側は一人になってしまうので、子どもはあんまり増やせられないなということで10人とか少人数からやって、今年度の手応えで、姿を変えていこうかなと思っております。

渡部委員長 Zoomをうまく使い慣れていきますと、全体会とは別にそれぞれの部屋に分けるような

機能（ブレイクアウトルーム）があります。

ですから例えば、10人ずつぐらい入ってもらい機能、小部屋（ブレイクルーム）に分けたり、その10人ずつ分かれたグループがまた全体で一緒に全体会をしたり、ということもできますから、さきほど超初級の教室があると聞きましたので、続いて中級を開いていただいて、そういうのも使えるようになると面白いと思います。ありがとうございます。

あと事務局は、中止とか書面開催だったのが令和4年度はオンラインというふうな形に変わっていく可能性もあるのでしょうか。教えてください。

事務局花尾 事務局でも、今回のことを励みにしながら Zoom でオンライン研修、また本来の会議ができれば良いかなと思って計画しようかなという予定でおります。いろいろとご不便かけますけども、よろしく願いいたします。

渡部委員長 はい、ありがとうございます。

それでは御挨拶いただきました順番で尋ねていこうと思います。

松枝委員 先ほど事業計画のご説明があったのですが、その中でインターネットとか携帯電話の被害から子どもを守るというのが大きく掲げられていたと思うのですが、そのへんは、よくニュースでも話題にはなるのですが、コロナになってここ2～3年で特に増えたとか、どうかというのを教えて頂きたいというのが一つあります。

また、インターネット・携帯電話の被害の問題とか、不登校やいじめの問題に対して具体的にどんなことをやっていこうとされているのか、ここで紹介できるものがあれば教えて頂きたいと思います。よろしく願いします。

事務局花尾 インターネット等については、学校でも毎年のように研修会をしながら子ども達に啓発している事と、昨年度は愛護センターでは実施されていないのですが、今年度は愛護センターで愛護委員・保護者・地域の方を集めての研修会をして、それを活かして子ども達への啓発ができればと思って計画をしているところです。

不登校については、芦屋市は適応教室を中心にしたがりの取り組みをしており、校内でもカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの方々を有効利用しながら、そういった子ども達や保護者への対応をしているところです。

渡部委員長 次回でもよろしいので、経年調査、毎年の調査をしていると思いますので、松枝さんの質問はコロナ以前とコロナになってからの増減とか変化はありますかということでしたから、次回までに例えば不登校とかいじめとか、特に携帯電話を使った事案が増えているのか増えていないのか、押さえてまた報告いただけますでしょうか。

事務局花尾 分かりました。

倉内委員 私の方から、学校の関係の方にご相談とかお尋ねしたいのですけれども、最近ヤングケアラーという問題が私たちの方でたくさん出ているのです。私たち民生委員が把握しようと思ってもなかなか見つからないとか、見えない状態なのです。

学校の方でこういうことを把握されているのかどうか、どの子が、ヤングケアラーなのかを把握されているのかなというのを伺いたいです。

特にコロナになりましてから、親御さんの体調がすぐれないとか、両親とも働きに出ないとやっていけないようなご家庭が出てきて、小さいお子さんの面倒を見なきゃいけないとか、いろんな面でヤングケアラーというのが増えていると思うのですが、学校側で把握

できているのかというのが疑問なので教えて頂ければと思います。

渡部委員長 中学生の調査では17人に1人ぐらいがヤングケアラーという全国調査がありましたけれども、芦屋市の場合どうでしょうか。

行政側でも結構ですが、調査が何らかの形であるとか、ヤングケアラーの把握ができていないとか何かありますでしょうか。

事務局花尾 今、関係者の方がいらっしゃいませんので、調査をして報告できたらと思いますので、よろしくお願いします。

渡部委員長 はい。こども家庭庁というのが今度立ち上がったりしますので、中学生の調査ですけども、年齢をまたいで、芦屋市でヤングケアラーのどんな実態があるのか、ぜひ追跡してみてください。

倉内さんそれでよろしいでしょうか。次回以降になりますけれども。

倉内委員 結構です。よろしくお願いします。

渡部委員長 それでは、行政側になりますが、中西委員何かございますか。

中西副委員長 愛護委員さんの見守りにつきましては、令和2年度の三学期に緊急事態宣言が発出された時には活動を制限して頂いたのですが、昨年度はまん延防止であるとか緊急事態であるとかそういった状況の中においてもワクチン接種をしていただきながら、こんなにたくさんの方の活動を多くの方でして頂いたことを、まずお礼申し上げたいと思います。

見守りをさせていただくことで子ども達が安心して学校生活を送れるし、地域での生活も送れることにつながっていると思います。改めてこの場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。

報告の中で、有害図書の定期回収のところ、どんどん図書類が減少しているのご報告いただきました。これは生活がコロナで変わったのか、そういうこと以外にも、最近でいうと芦屋の図書館も電子図書館というような取り組みを始めています。それと同じように、紙の本を借りてきたり、買ってきたりするよりも電子の形で、タブレットとかスマホで再生されるようなことが多くなってきているのかなというふうにも感じているところです。

この有害図書は白ポストで回収するという取り組みと認識しているのですが、形のある本・DVDしか回収できないのですが、有害の媒体から子ども達を守るという意味で、新しくスマホの中のデータを防いでいくとかの取り組みになっていくと、なかなか実態が見えないところでの取り組みにもなるので難しいのかなとは思いますが、今、実態のある本・DVD以外のデータについて、何か取り組みをしようというようなところが事務局であればありましたら、教えて頂きたいです。

渡部委員長 事務局どうでしょうか。宿題にさせていただいてもよろしいですが。

事務局花尾 今、仰っていただいたこと、いろいろ苦悩しているところがございますけども、インターネットやSNSの研修をしながら子ども達が被害にあわないようにということで考えておりますので、そういう機会を増やしながら、あと学校と連携しながら道徳教育等含めて啓発していけたらと思います。宿題にさせて下さい。お願いします。

中西副委員長 いえ、もう、今後取り組みを進めていただければなと思いますので、よろしくお願いします。

渡部委員長 私の方も全国でどうなっているのか、次回までに機会があれば情報を集めてみたいと

思います。続きまして、尾崎委員お願いいたします。

尾崎委員 先ほどから出ているように、このコロナ禍でもこれだけの街頭巡視をしてくださっているのだなというのを改めてありがたく思いました。幼稚園の前は山手小学生と山手中学生と両方ともよく通っているのですけれども、普段から「ちょっとトイレ貸してください」とか「しんどいから連絡してください」とか言うてくる生徒さんが時々いるのですけれども、この1学期すごく多かったような気がしました。

たぶん愛護委員さんとか見守りの方が、すごくたくさん回って下さっていて、この1学期マスクもしているし、それからコロナでいろいろ制限もある中で、登下校中気分悪くなったり、しんどくなったりする子ども達も多かったんじゃないかなと思います。

登下校中なので愛護委員さんだけでなく小学生に付いて行っている見守りの方もたくさんいると思うのですが、この1学期はそういう方の声がすごくかかっていたようです。

幼稚園にも声がかかっていたので、それ以上に登下校中でのいろいろなご苦労があったのかなど、この事業報告を見て思いました。これからもよろしくお願いします。意見ではなく感想です。ありがとうございます。

渡部委員長 コロナの事もありますし、梅雨明けが早く梅雨明け後、特に気温が高かったこともあります。入江さん何か気付いたことがありますか。登下校中の体調管理ですが。

入江委員 愛護委員さんから聞いているのが、本当に夏が始まったのが早かったので、マスクを外して登校してと言っても、子ども達がなかなかマスクを外せないままで、山手小学校区でしたら、かなり校区が広くてすごい長い距離を歩いて、最後がすごい坂なので気分が悪くなって坂の途中で休む子とか、遅れてきたために登校班が行ってしまっ一人ぼっちになっているところを、最後の坂のところで、フラフラになって熱中症みたいになっている男の子がいたと。愛護委員さんが偶然見つけて学校に連れて行くことができたのですけれども、偶然通ってなかったらあの子どうなってたのかなという話とかも聞きました。

また、お手洗いの件なのですが、学校から西山幼稚園か阪急芦屋川の駅のトイレを途中で使わせてもらえるよと何年前に言っていたのが、最近になって割と保護者の方に認知されたようで、それでもしかしたら増えたのかなとも思います。

この間も開森橋の交番で、学校までもたない男の子がいて、交番に駆け込んで、ちょうどお巡りさんがいらっしまったので、おトイレを使わせていただいたということもあって、いろんなトラブルが日常茶飯事にあるなど感じます

渡部委員長 登下校のルートで、例えばトイレマップとか、こども110番のマップとか、子どもを守る環境とか、そういうのはあるんでしょうか。「見える化」というか、何かマップになっているのでしょうか。

入江委員 以前、愛護マップというのを作ってまして、各小学校の玄関に貼っていたのですが、コロナでそれが各PTAや愛護委員でどうなっているのかが把握できてないのですけれども、愛護マップのところに子ども110番のプレート貼っているお家にシールを付けてたりとか、そういうのはあります。

お手洗いの方は他の小学校はちょっと分からないのですけれども、山手は松ノ内公園と芦屋川の駅と西山幼稚園のことしか把握していない状況です。

渡部委員長 それは口コミで伝わっているのですか。それともマップに使えるおトイレのマークが

あるのでしょうか。

入江委員 お手洗いは保護者の口コミで。何年か前に学校から聞いたよっていう感じです。

渡部委員長 これは例えば尾崎委員さんの幼稚園に使えるおトイレがありますなんてマップにしちゃうと利用者が増えて困っちゃうのでしょうか。それとも保護者の間ぐらいただったら使えるおトイレマップでもよろしいのでしょうか。

尾崎委員 そうですね。学生さんだったら良いのですが、一般の方がいっぱい来られたらちょっと不審者対応の面から困ります。山登りルートの途中なので、もしかしたらとは思いますが、今のところ小中学生しか来られないので、大丈夫です。

渡部委員長 子ども前提だったら良いということですね。

尾崎委員 そうですね。

渡部委員長 それでは、入江委員さん何かございますか。

入江委員 今回3年ぶりに愛護協会と愛護委員会を5月・6月に総会を対面で無事させていただくことができました。3年ぶりということでセンターの職員さんが総会初めての方ばかりだったのですけれども、本当に良くしていただいて無事に3年前と遜色なく開く事ができて本当にありがとうございました。

今回思いましたのは、センターの職員さんが半年とか1年とかで異動になるのが愛護委員として、しんどいなってという思いがありまして、できれば1年以上は職員さんがいて下さると私たちもありがたいなという思いです。

あともう一つ、小学校の保護者さんから声が多かったのは、今タブレットを子どもたちが毎日持って行くクラスもあれば、週末だけ持って帰るというクラスもあるみたいなのですが、タブレットプラス算数・国語だけでもノート2冊、教科書・ドリルとあるとタブレットのカバーも重いから1キロ以上あってランドセルが重いんだってという話があったので、少しでも軽くなれば良いなと思うんですけれども、そういう改善策があれば、と思います。

渡部委員長 今日は教育委員会の方が直接おられないので、ちょっと宿題にして、タブレットも入れると大体何キロになるのか重さなんかも測定していただいて。他の自治体ではランドセルを重いものではなくて、もう少し軽いタイプに変えてみよう、というところもあるようですので。芦屋の子どものランドセルの重さを学年別に量ってみたりとか、試してみてもどうでしょうか。ちょっと「見える化」すると面白いと思います。

先ほど「子ども会議」の事が出ました。今日は茶嶋部長さんがお見えですので、前回青少年問題協議会でコミュニティ・スクール（学校運営協議会）と子どもの参加の形をどうするかという意見が出ていて、その時、私は「子ども会議」と結びつけることができなかったのですが、もうすでに愛護委員の方で「子ども会議」をされているようでしたら、新しく立ち上がるコミュニティ・スクールと、この「子ども会議」を結合してみても面白いんじゃないでしょうか。

愛護委員がしている「子ども会議」にコミュニティ・スクールの委員さんにも参加してもらおうとか、傍聴に来てもらおうとか。これをコミュニティ・スクールと愛護委員で協力して行くとすれば、どういう芦屋独自のやり方があるのかみたいなものも、一つの工夫かなと。

新しくコミュニティ・スクールでの子どもの参加を模索するよりは、既にやられている

「子ども会議」のようなものを発展させた方が上手くいくと思います。茶嶋部長さんどうでしょうか。少しまたコミュニティ・スクールの方で検討して頂けますでしょうか。

茶嶋委員 そうですね。いろんなやり方があると思いますので、芦屋は芦屋にあったやり方を考えれば良いと思いますので、また学校教育課とか入江委員とかと話をさせて頂いて良い形に持っていきたいと思っております。

渡部委員長 ありがとうございます。それでは一巡しましたので、全体でもう一度ここを聞きたいとかここを掘り下げたいとかありますか。

松枝委員 先ほど中西さんから話があった、いわゆる白ポストの件なのですが、昨年度の第2回目の書面で開催された時に、私同じような質問をしたのです。

近年のインターネットでの情報・動画等を考えた場合、白ポストに代わる施策が検討されるべきではないかと。そういう質問をしたら、その時の回答が、スマホやタブレット・パソコンを児童・生徒が使用する時は、家庭でフィルターをかけるように兵庫県青少年愛護条例でも決まりがあります。ネット課金などの教育も学校で行っているところがあります、という回答をいただいております。それに追加されるようなお答えがあるのであれば、また次回の時に教えて頂きたいと思えますけれども。数か月前の回答がそういう内容でした。

それが一点と、保護司の活動の中で、青少年のこころの病というのが問題になっています。こころの病、特に統合失調症などに罹った場合、それがもとで自分が分からなくなったような状態で、犯罪を犯すというような場合がみられます。そういう子どもたちは、後の指導とか教育もなかなか難しい時があるので…。

今は結構薬なんかでも、病に罹った時やそういう兆候が表れた時に、対処すればすぐ回復して問題ないのに、なかなかそういう病気に対する偏見とか知識のなさによってひどくなって、ということがあるのですが、学校等でそういうこころの病についての講演会とか催されたことがあるのか、そういう計画があるのかないのか、そのへん教えて頂きたいなど。

私の知り合いでそういう活動をやっている人が、学校等をまわって講演をやっているので、そのへんの取り組み芦屋ではどうなのか、できたら教えて頂きたいなど。

事務局花尾 学校等での活動については、教職員についてはカウンセラーの研修会等でそういった学習をしていますけども、子ども達にはそういった講演会は今のところ実施していないかと思えます。

松枝委員 できたら、一回考えて頂ければと思います。どうしても、子ども達、自分で解決できない、いじめと同じであって、訳の分からないことがあったら自分の心にしまったりとか、もしくは不登校になってしまったりという状況です。

それこそカウンセラーの先生方が、いくら頑張っても見つけにくいところも出てくるので、一人一人へ知識をいかに知らしめるかが大事なかと、それによって我々としても犯罪につながる子どもたちが減るのであれば、ありがたいなと思えますので。どこかで検討していただければありがたいなと思えます。

事務局花尾 今のお話に関連して、こころの病という形ではなくて、例えば中学3年生の子ども達が進路について悩むことがあるので、ストレスを解消する方法みたいなところは以前から取り組みは進めているところです。

こころの病という形ではないかなと思いますけども。そういったことはやっておりますので、お知らせをしておきます。

渡部委員長 今後、事業化が可能かどうかも含めて探って頂きたいと思います。

その他に全体で何かございますか。

今日はオンラインということで、第1回目の試みができまして喜んでおります。

一旦司会を事務局にお返しいたします。よろしく申し上げます。

事務局花尾 ありがとうございます。それでは閉会の挨拶を中西副委員長よろしく申し上げます。

中西副委員長 昨年度1年間の活動をご報告いただきました。そして今年度の活動予定・計画について、新たに昨年度の一年間の反省に基づいて今年度どういうふうに活動していくか、ということになるのかと思うのですが。常に何かあるたびに、様々なご意見をいただく中で、行政でも事業を進めていくという形をとっていますので、この形が続けていければ良いのかなと考えております。

子どもを取り巻く状況としましては、昨今の報道で言いますと、富田林のケースがございました。あのケースでも、あのおばあちゃんは子どもを5人も育ててきていますので、子どもにずっと虐待をしてきたのかという、そうなのかどうなのかというところも。

元々は何か原因があつてそういったことになってしまったということもあるかもしれません。

そういった時には、その手前で相談できる場所があつて、そこで立ち止まれるというようなこともあるかもしれませんので、そういった意味では私たち行政であるとか、お集まりの皆さんの中で、どこかでそういったことをキャッチできるとかそういうことがあれば、一人でも多くの子どもの救われるのかなと最近思うようになっていきます。

それから、今月実際には何も起こらなかったのですが、児童を誘拐するというような犯行予告が全国の自治体に向けて発信されたということもあります。

日頃から、行政とか、ご協力いただく団体さんと共に子ども見守りのパトロールも芦屋市は実施ができておりますので、そういった意味で朝・午後・夕方の方の街の中には、子どもを見守る大人の目がたくさんあるという意味で、芦屋市はとても恵まれた環境にはあるのかなと思うのですが、気を抜くと何が起こるか分からないということもございます。

今一度皆様のお力をお借りして、芦屋の子どもを安心安全に、地域で、学校で生活できるように見守るということをお集まりの皆様にも、再確認の機会にさせていただければと思います。

これで閉会の挨拶とさせて頂きたいと思います。本日は皆様本当に出席いただきましてありがとうございました。

渡部委員長 どうもありがとうございました。

事務局花尾 中西副委員長様、どうもありがとうございました。

本日は皆様より貴重なご意見をいただきました。初めてのZoomによるオンライン会議で手際等があったことをご詫言申し上げます。ご意見については今後の愛護センターの運営・活動に活かしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

次回の開催は令和5年2月頃を予定しておりますので、よろしく申し上げます。これももちまして令和4年度第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。